

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 15 日 作成

事務事業名		施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計 画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	議会事務局	課長名	出口 増穂	
	施策	23	開かれた議会づくり			所属課	議会事務局	担当者名	財津 公正	
	基本事業	79	開かれた議会の推進			所属班	議会班	(内線)	1311	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	9
		1	1	1	1	10932			コスト削減優先度評価結果	3
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】 議会運営に対応して、議会施設・設備の管理運営を行う。										
【業務の流れ】 本会議場、委員会室の録音機器をはじめとする施設設備の維持管理。										
【主な予算費目】 委託料、工事請負費										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 議場、委員会室及び録音機器等の維持管理 議場録音設備(マイク、録音機器、カメラ)の改修に係る検討、調査	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 議場音響設備関連機器の全面改修 委員会室の録音機器の維持管理
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 保守点検回数 回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 議場、委員会室	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 部屋数 部屋 イ 機材数 台
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正な管理運営により、施設設備の性能を維持する。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア トラブルの件数 件 イ 対応率 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 目的に沿って適正に管理され、有効に活用されている。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 目的に合わせて有効活用されている資産の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円								総トータルコスト (期間限定複数年度のみに記載)
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円		859	158	158	15,063	63	63	
(A) 事業費計	千円		0	859	158	158	15,063	63	63	0
人件費	うち指定経費	千円								0
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	370	534	534	383	634	534	534	
(B) 人件費計	千円	1,469	2,125	2,125	1,524	2,523	2,125	2,125	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,469	2,984	2,283	1,682	17,586	2,188	2,188	0	

活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	目標合計 数計画 22年度
対象指標	ア 部屋	5	5	5	5	5	5	5	5	
	イ 台	6	6	6	6	6	6	6	6	
成果指標	ア 件	3	4	2	3	1	0	0	0	
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100	
上位成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成2年庁舎新築により、議場、委員会室を設置、併せて録音機器を設置した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

議員数の減少により、議場内議席を撤去した。

常任委員会が増えたため、委員会室を増やし、併せて録音機器も増やした。

機器設備の老朽化が見られ、改修が必要な時期が来ており、平成21年度中に音響設備関連機器の全面的な改修を実施する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

傍聴者出入りロドアの改善(車椅子等への対応)

空調機器、廊下照明等の操作盤の移設

事務事業名	施設維持管理事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 適切な管理により、施設設備を有効に利用できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 議会は地方自治法により設置が義務付けられており、その会議のための施設設備の維持管理について市が行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現在、有効に利用している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 適正な議会運営に支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 録音機器等特殊なものがあり、連携できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 設備機能を保持するための保守点検のみ実施している(21年度改修事業を実施)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 設備機能を保持するための保守点検のみ実施している
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益者負担を求める事務事業に該当しない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 音響関連設備の全面改修を行う。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)